

令和8年熊本地震におけるオフィスビル被害状況調査報告(令和8年8月7日)

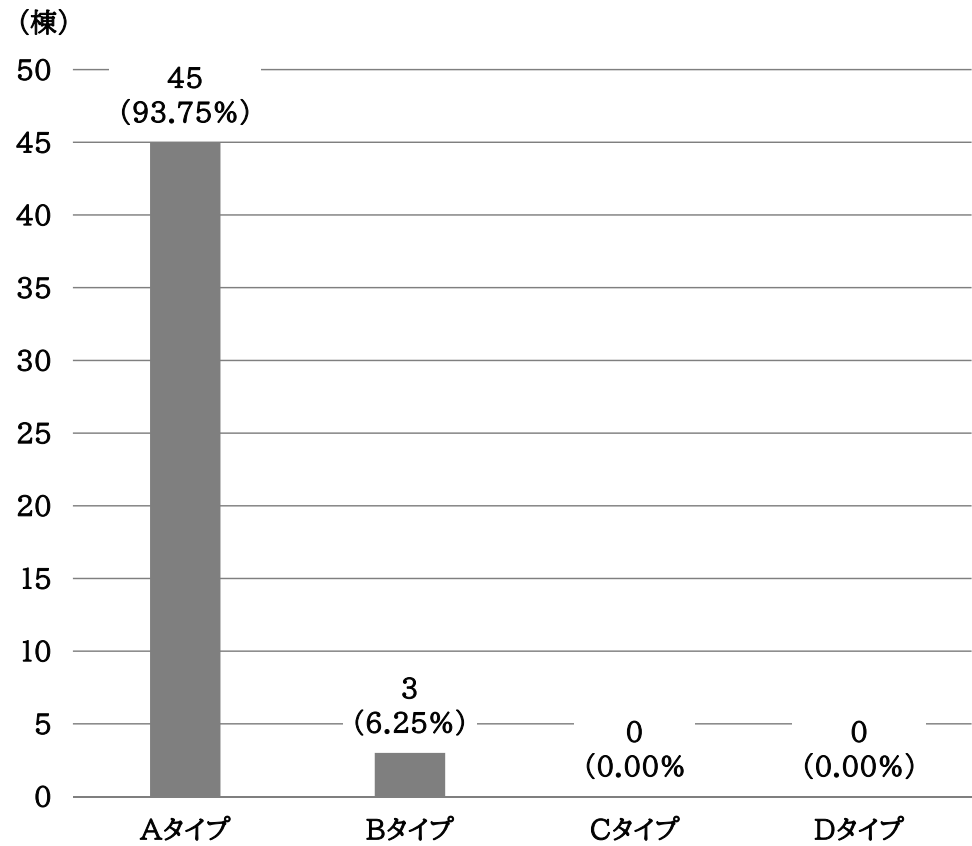
■令和8年7月28日(火)に発生した熊本地震の発生後、オフィスビルの被害状況につきまして多数のお問い合わせをいただきました。これを受け、当社では現地においてオフィスビルの被害状況に関する調査を実施いたしましたので、その結果をご報告申し上げます。なお、本調査は現地にて目視確認を実施した時点での内容を取りまとめたものであり、今後の状況により内容が変更になる可能性がございますので予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

【調査対象エリア】

大通沿い(赤線)に位置する延床面積100坪以上のオフィスビル

【調査対象ビル数】 48棟

【調査実施日】 2026年8月4日



【被害状況区分】

- ・Aタイプ | 外観上ダメージがないように見受けられる
- ・Bタイプ | 外観上のダメージが見受けられるが、短期間の復旧で使用可能と思われる
- ・Cタイプ | 外観に強いダメージが見受けられ、復旧に時間を要すると思われる
- ・Dタイプ | 倒壊や傾斜などにより、建物自体が使用不能に見受けられる